

貸与 PC のソフトウェア調査について

2013.4.3

この文書についての問合せは、栗野先生か志村にお願いします。研究室とメールアドレスは以下の通りです。

栗野 8 号館 823 kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp

志村 9 号館 966A shimura@math.cst.nihon-u.ac.jp

日本大学理工学部では、大学が所有するすべてのコンピュータに対し、インストールされているソフトウェアが正規のものであることを確認するために、ソフトウェアのライセンス等の確認を行なっています。

数学科の学生に貸与しているノート PC についても、ソフトウェアの調査とそのライセンスの確認を行なわなければなりません。

学生は、貸与された PC にインストールしたソフトウェアのうち、ライセンスの確認がなされていないものについては、適正化（ライセンスの確認と登録）作業をする義務があります。

1 ソフトウェア調査の手順

ソフトウェア調査の流れは以下のようになっています。
同じ説明は次のところにあります。

<http://math.cst.nihon-u.ac.jp/~shimura/soft/>

また、栗野先生のページにも関連した情報があります。

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/>

1. ソフトウェアチェッカー (SCvista7_x64.exe) の取得
2. ソフトウェアチェッカーの実行
3. 調査結果の提出
4. 調査結果の確認

5. 適正化作業

1.1 ソフトウェアチェッカーの取得

学内にいる場合は次の場所から Windows 用のソフトウェアチェッカーをダウンロードしてください。

ソフトウェアチェッカーは新しいものになっています。名前は SCvista7_x64.exe です。

https://asset.cst.nihon-u.ac.jp/acc_docu/SCvista7_x64.exe

学外からアクセスしている場合は、Windows 用のソフトウェアチェッカーは次の場所からダウンロードできます。

http://math.cst.nihon-u.ac.jp/~shimura/soft/SCvista7_x64.exe

1.2 ソフトウェアチェッカーの実行

1. ソフトウェアチェッカーを調査を行なうコンピュータのデスクトップに置いてください。既に、ソフトウェアチェッカーがある場合は上書きしてください。
2. デスクトップに、xx-xx-xx-xx-xx-xx.html (x は 0-9,A-F の文字) という名前のファイルがないことを確認してからソフトウェアチェッカー を右クリックして管理者権限で実行を選択してください。

もし xx-xx-xx-xx-xx-xx.html という名前のファイルがある場合は、それを削除してから、ソフトウェアチェッカーを実行してください。

3. この新しいバージョンのソフトウェアチェッカーは、MAC アドレスというものの設定ができるようになっているそうです。

もし MAC アドレスの選択が必要な場合は、次に従ってください。

機種	設定する番号
vaio w	50-63-13 から始まる番号
hp mini 5103	AC-81-12 から始まる番号
ThinkPad X121e	04-7D-7B から始まる番号
HP 2330s	00-24-81 から始まる番号

4. コマンドプロンプトの黒い画面が開きます。

このとき、IE (インターネットエクスプローラ) などのブラウザが開きます。

(a) 学外で実行した場合

ブラウザには、中央に大きく Forbidden と書かれて、「調査結果を送信する」というボタンが一番下にある画面が出ます。

(b) 学内で実行した場合

ブラウザには、調査結果報告のための画面が出ます。この画面の一番下にも「調査結果を送信する」というボタンがあります。

いずれの場合も、この「調査結果を送信する」ボタンをクリックしないでください。

5. デスクトップには xx-xx-xx-xx-xx-xx.html (x は 0-9,A-F の文字) という名前のファイルができています。ブラウザを閉じずに、このファイルをデスクトップ以外の場所に保存してください。(ブラウザを先に閉じると、html ファイルが消えてしまいます。)

1.3 調査結果の提出

電子メールに次の要領で必要事項を記入し、保存した html ファイルを名前を変更せずに添付して送ってください。

平成 10 年に入学した 4 年生に貸与されている機種の場合次のようになります。

氏名 理工太郎 (自分の氏名を記入)

学生番号 0130 (自分の学生番号)

機種 vaio w (貸与された ノート PC の機種名を記入 機種名は、学年や入学年度によって異なります。)

資産管理番号 171-HW-1234-5678 (銀色のラベルに記載されている IT 資産管理番号)

E-mail csso0xxxx@g.nihon-u.ac.jp (あなたの連絡先の e-mail アドレス)

送り先は次のメールアドレスです。

it-chousa@math.cst.nihon-u.ac.jp

連絡先の e-mail アドレスは NU-MailG ではなくてもかまいませんが、必ずあなたのところに届くものを記入してください。

特に携帯電話のメールの場合、携帯電話以外からは着信を拒否する設定になっていることがあります。そのような設定になっていないことを確認してください。

1.4 調査結果の確認

調査結果を提出してから数日のうちに、記入した e-mail アドレス宛にこちらから返信のメールを出します。返信を必ず確認してください。

一週間以上返事がない場合は、提出したメールアドレスが正しくないなどの理由で届いていない可能性があります。問合せのメールを出す、もう一度宛先等を確認して提出し直すなどしてください。

1. インストールされているソフトウェアがすべて適正な場合。
調査完了のメールを返信します。
2. インストールされているソフトウェアに適正化すべきものがある場合。
プレインストールソフトウェアや日本大学がライセンスを所有しているソフトウェアについては、登録作業はこちらで行ないます。
適正化すべきソフトウェア名と、必要な作業を書いたメールを返信します。この場合、次の適正化作業を行なうことになります。

1.5 適正化作業

1. 適正化すべきソフトウェアについては、次のいずれかを行なう必要があります。
 - (a) 該当するソフトウェアのアンインストール。
 - (b) 該当するソフトウェアのライセンス証のコピーなどの提出。
個人でインストールした有償ソフトウェアのいくつかがこれに該当します。
プリンタやデジカメ等に付属していた無償ソフトウェアの場合は、付属していた機器の名称や型番を知らせていただくことになります。
2. アンインストールを行なった場合は、上記の手順でもう一度ソフトウェアチェッカーを実行して、アンインストール後のコンピュータの情報を送ってください。

2 注意事項等

2.1 貸与 PC が故障している場合

貸与した PC が、故障していてソフトウェアの調査ができないことがあります。

1. この場合、ただちにコンピュータの修理の問合せをしてください。修理の手続きは PC の貸与時に配布した文書にあります。
故障と思われるがコンピュータの状況がわからない場合は、栗野先生に一度相談をしてください。
2. 修理をする意志のない場合は、すみやかに貸与された PC を返却してください。

2.2 Mathematica について

2.2.1

「数学科教育法 II, III」の講義では、Mathematica を使用します。栗野先生のページにお知らせがあります。

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/>

今年度 (2013 年度) の「数学科教育法 II」受講希望者を対象とした Mathematica Install について (2013/04/03)

2013 年 4 月中に有効なパスワードが必要な方は次の日時場所に Note-PC と電源をもって来てください。

- 日時: 2013/04/04 15:00–
- 場所: 駿河台 8 号館 2 階 823 室

2013 年 5 月以後に有効なパスワードはまだ入手できていません。

2.2.2 student 版について

情報センターが提供している Wolfram Mathematica 7 for Students は貸与 PC にインストールしてはいけません。「数学科教育法 II, III」で Mathematica が必要な学生は、栗野先生のページのアナウンスに注意してください。

また、既に Student 版をインストールしている学生は、アンインストールをしてください。